

# 令和8年度東北町農林水産業経営基盤強化推進事業

～ 要望調査を開始します ～

要望調査期間： 令和8年2月5日（木）～3月19日（木）まで

令和8年度東北町農林水産業経営基盤強化推進事業は、農林水産業において経営基盤強化のために導入する機械や資材の導入を支援する対策です。

※この要望調査は、令和8年度当初予算の編成に向けて実施するものであるため、当初予算の成立後、その内容に応じて、事業内容等が変更になる場合があります。



令和8年2月

東北町 農林水産課 問い合わせ先 ☎ 0176-56-4384

# 1. はじめに（事業の概要等）

## （1） 事業タイプと概要

事業タイプは以下の3つになります。

### ① 農林水産業経営継続支援タイプ

物価高騰により、大きな影響を受けている農林水産業者が、経営基盤強化のために導入する機械または資材に対し支援するもの。

⇒詳細については2ページから

### ② スマート農業関連支援タイプ

省力化及び作業能率により農業経営基盤強化を図るために、スマート農業機械等を取得または導入する農業者に対し支援するもの

⇒詳細については4ページから

### ③ パイプハウス造成支援タイプ

主食用米から非主食用米への転換、耕作放棄地防止のためや施設園芸作物で新たにパイプハウスを造成する場合に支援を行います。

⇒詳細については6ページから

# ① 農林水産業経営継続支援タイプ

## (1) 事業実施主体

事業実施主体は、原則、次の条件をすべて満たす者が対象となります。

- ① 東北町に住所を有している
- ② 農業者については原則、販売農家、水産業者については、原則漁業協同組合の正組合員である者。

## (2) 対象事業内容等

支援対象となる事業内容は、事業実施主体が省力化又は作業効率向上のために農林水産業用機械又は資材を導入する取り組みです。

※ 導入する機械等は、次に掲げる基準を満たす必要があります。

- ・ 機械導入の場合、原則新品であること。（ただし、中古の機械等の場合でも耐用年数が2年以上残存していることがわかる場合は可とする。）
- ・ 機械導入の場合、単純更新ではないこと。
- ・ 機械導入の場合、購入価格が30万円以上であること。
- ・ 資材導入の場合、購入価格が10万円以上であること。

## ① 農林水産業経営継続支援タイプ

### (3) 配分上限額等

本事業の補助率等は次のとおりです。

	補助率	上限額	
		新規申請者	継続申請者 ※
①機械導入事業	1 / 3 以内	50万円	40万円
②資材導入事業	1 / 3 以内	30万円	20万円

※ 継続申請者とは、直近3ヶ年以内に本事業を利用したことがある方。

※ ①と②を同時に行う場合は上限額は50万円（継続申請者は上限額40万円）

### (4) 申請書類

申請時に必要な書類は次のとおりです。

- ① 要望調査票
- ② 直近の確定申告書又は決算書※
- ③ 導入希望機械等の見積書及びカタログ（1社分）

※ 要望調査時点で直近の確定申告書等が令和6年分の場合は、交付申請時に改めて令和7年分の確定申告書等の提出が必要になります。

## ② スマート農業関連支援タイプ

### (1) 事業実施主体

事業実施主体は、原則、次の条件をすべて満たす者が対象となります。

- ① 東北町に住所を有していること
- ② 販売農家であること
- ③ 認定農業者、認定新規就農者、地域計画に位置付けられた者又は位置づけられることが確実である者

### (2) 対象事業内容等

補助対象となる事業内容は、省力化及び作業能率向上を図るため事業実施主体が耕作面積の拡大による地域の耕作放棄地拡大防止の取組及び労働時間削減の取組を行うためのスマート農業機械の導入または農業用マルチローターの資格取得です。

※ 導入する機械等は、次に掲げる基準を満たす必要があります。

- ・ スマート農業機械は、自動操舵トラクタ、農業用マルチローターが対象
- ・ 機械導入の場合、事業費が整備内容ごとに**30万円以上**であること。
- ・ 機械導入の場合、原則新品であること。
- ・ 操縦者育成（資格取得）の場合、1経営体当たりの最大の対象は2名までとする。

## ② スマート農業関連支援タイプ

### (3) 配分上限額

本事業の補助率等は次のとおりです。

	補助率	上限額
①機械導入事業	1 / 3 以内	1 0 0 万円
②操縦者育成事業	1 / 2 以内	1 0 万円

※ ①と②を同時に行う場合は上限額は1 0 0 万円

### (4) 申請書類

申請時に必要な書類は次のとおりです。

- ① 要望調査票
- ② 直近の確定申告書又は決算書※
- ③ 導入希望機械等の見積書及びカタログ（1社分）

※ 要望調査時点で直近の確定申告書等が令和6年分の場合は、交付申請時に改めて令和7年分の確定申告書等の提出が必要になります。

## ③ パイプハウス造成支援タイプ

### (1) 事業実施主体

事業実施主体は、原則、次の条件をすべて満たす者が対象となります。

- ① 東北町に住所を有していること
- ② 販売農家であること

### (2) 対象事業内容等

補助対象となる事業内容は、水稻育苗用ハウスの場合は、目標年度（令和10年度）までに①主食用米から非主食用米へ転換、②作付面積の拡大、または③省力化設備（自動灌水装置など）を合わせて導入のいずれかを達成することが条件となります。

水稻以外の作物に使用する場合は、目標年度までに対象作物の作付面積を拡大すること。施設園芸作物用のパイプハウス場合も対象となります。

※ 造成するパイプハウスは、次に掲げる基準を満たす必要があります。

- 補助対象経費となるのは、パイプハウスの材料費のみ（施工費用は除く。）。
- 新たに造成したパイプハウスは、園芸施設共済等、気象災害等による災害に備えた措置がなされること。
- 原則、新品の材料を使用したもの。

## ③ パイプハウス造成支援タイプ

### (3) 配分上限額

本事業の補助率等は次のとおりです。

補助率 1 / 3 以内 上限額 30万円(1事業主体あたり)

### (4) 申請書類

申請時に必要な書類は次のとおりです。

- ① 要望調査票
- ② 直近の確定申告書又は決算書※
- ③ 見積書（1社分）
- ④ パイプハウスの設計図等（形状や大きさのわかるもの）

※ 要望調査時点で直近の確定申告書等が令和6年分の場合は、交付申請時に改めて令和7年分の確定申告書等の提出が必要になります。

## 2. 今後のスケジュール(案)

- ① 3月19日まで 事業実施主体が町へ要望調査票を提出
- ② 4月上旬～中旬 事業実施主体が町へ申請書を提出
- ③ 4月中旬～5月上旬 町による審査、助成対象者の決定
- ④ 5月上旬以降 事業の開始（メーカーと契約等）  
（注意）交付決定前の契約等はできません。
- ⑤ 年度内までに
  - ・ 事業完了届の提出（納品等）、町による検査
  - ・ 検査合格後、代金の支払い
  - ・ 実績報告書の提出
  - ・ 町による補助金の支払い
  - ・ 状況報告書の提出